

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2019. 5. 13

下水道機構の『新技術情報』 第379号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

下水道機構では、5月1日よりクールビズが始まりました。クールビズは10月31日まで実施します。職員は軽装になっていますのでご理解のほどよろしくお願ひします。

気温も暑くなったり、寒くなったりとまだまだ体調管理が大切です。

急な雨や雷など、変わりやすい天気にもお気を付けください！

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第379号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・第382回技術サロンを開催します！
- ・技術マニュアル活用講習会を6/21(金)東京、6/25(火)大阪で開催します！

■機構の動き

- ・今週はありません

■Tea Break

- ・おすすめ観光スポット (バーモントカレーさんからの投稿です)

■研究成果のおさらい

- ・低圧損型メンブレン式散気装置の導入マニュアル作成に関する共同研究
- ・ゼロ・エミッション型下水処理場の可能性調査共同研究

■ピックアップ！機構情報

- ・講演ダイジェスト
(基調講演「下水道におけるコンセッションと管路包括委託」)

■はしわたし

- ・今週はありません

■国からの情報

- ・5/10付下水道ホットインフォメーション

インフォメーション (最新の話題です)

。○。○。

●第382回技術サロンを開催します！

日 時：令和元年6月13日(木) 16:00~17:00

場 所：機構8階 中会議室

講演者：国土交通省 国土技術政策総合研究所 下水道研究部

下水道エネルギー・機能復旧研究官 高村 和典氏

テーマ：省エネ技術導入による下水処理場の電力消費量削減効果の検討（仮）

※詳細及び参加申し込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/salon382>

●技術マニュアル活用講習会を6/21(金)東京、6/25(火)大阪で開催します

民間企業と共同で研究した新技術を紹介するため、技術マニュアル活用講習会を開催しています。新技術を採用する上で、その内容をより深くご理解いただき、有効に活用しやすいよう、講習会に参加する皆様に技術マニュアル等を配布し、研究担当者がパワーポイント画面により図・表を多用して分かりやすく説明しています。多数の皆さまのご参加をお待ちしております。

対象技術マニュアル等：

「自立管 製管工法（ら旋巻管）に関する技術資料」

「下水道管路管理の包括的民間委託推進マニュアル（案）」

「下水道管きょ内の水位予測機能を備えた管きょ内水位把握システムに関する技術資料」

「効率的・効果的な浸水対策に資するポンプゲート設備に関する技術マニュアル」

「蒸気間接加熱型汚泥乾燥機技術マニュアル」

「低圧損型メンブレン式散気装置の導入マニュアル」

「下水道由来肥料の利活用マニュアル」

「下水処理場におけるエネルギー自立の可能性調査研究

～ゼロ・エミッションを目指して～技術資料」

プログラムはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/2019manual-program>

【東京会場】令和元年6月21日（金） 10：00～16：50

（会場）下水道機構 8階会議室

【大阪会場】令和元年6月25日（火） 10：00～16：50

（会場）大阪科学技術センター401 会議室（大阪府大阪市西区靱本町1-8-4）

【参加費】2,000円（官公庁、公共団体等は無料）

※1. CD版の技術マニュアルとテキストを配布いたします。

※2. 参加費は、銀行振込でお願いいたします。振込先はWEB申し込み時の「参加証」に記載致します。当日会場での参加費お支払いはできませんのでご了承ください。

【定員】東京会場80名、大阪会場120名

※先着順となります。

※詳細及び参加申し込みはこちらから

→<https://www.jiwet.or.jp/manual-seminar2019>

。 。 。

機構の動き （機構の行事予定です）

。 。 。

●今週はありません。

。 。 。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。 。 。

●おすすめ観光スポット（バーモントカレーさんからの投稿です）

昨年、徳島にある大塚国際美術館に行ってきました。

紅白歌合戦で米津玄師さんが出演した美術館です。

ここの展示作品はすべて陶板に焼き付けたレプリカで、本物の展示は無いのですが、西洋美術を中心に、古代から現代にかけて 1000 点以上の展示があり、触れたり写真を撮ったりすることができます。

いままで美術にあまり興味がなかった私でも何人かお気に入りの作家ができましたので、知識がない方でも楽しめると思います。

なぜ陶板なのか、なぜこのような場所にあるのかも調べてみると面白い美術館です。

研究成果のおさらい (機構の研究成果(要約版)をご紹介します) 。○○。
。○○。

・低圧損型メンブレン式散気装置の導入マニュアル作成に関する共同研究

下水処理場における電力消費割合は、焼却が無い場合は水処理が最大であり、その大部分が曝気のための送風機によって消費されています。送風機の省エネには、送風量の低減が必須であり、その実現には高い酸素移動効率をもち、目詰まりにも強い超微細気泡散気装置の導入が有効です。一方で、処理場の機能維持のため、段階的な導入とならざるを得ず、様々な課題もみられます。そこで低圧損型メンブレン式散気装置について、円滑な導入、導入後に最大限の省エネ効果を発揮可能となる内容を導入マニュアルとしてまとめました。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-05-13-ab1>

・ゼロ・エミッション型下水処理場の可能性調査共同研究

本研究では、省エネルギー・創エネルギーの取り組みが比較的進んでいない中小規模処理場を対象として、下水処理場においてエネルギー自立化率 100%を目指すための省エネ・創エネ技術の計画的な導入・整備手法について調査研究を行いました。また、未利用地域バイオマスの有効利用および脱水汚泥・処理水の有効利用についても検討しました。それぞれの下水処理場における長期計画・タイムプログラムも作成し、これらの成果をまとめ、ゼロ・エミッション型下水処理場を実現するための参考となる技術資料としてまとめました。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-05-13-ab2>

ピックアップ! 機構情報 。○○。
(下水道機構情報 Plus+ 16 号の中から記事をご紹介します)
。○○。

・講演ダイジェスト

(基調講演「下水道におけるコンセッションと管路包括委託」)

青山学院大学大学院 会計プロフェッション研究科 准教授 山口 直也氏)

PPP (Public Private Partnerships=官民連携・公民連携) は、政府によって提供されてきたインフラ資産とサービスをプライベートセクターが供給する取り決めと定義づけられ、わが国では 1999 年の PFI 法の制定に伴い、導入が進んでいきました。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-05-13-quarterly1>

WEB 版機関誌下水道機構情報 Plus+ 16 号（最新刊）はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter16>

下水道機構情報 Vol. 13 No. 28 2019. 1（最新刊）はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly28>

下水道機構情報 Vol. 13 No. 27 2018. 7はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly27>

下水道機構情報ははこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly0>

ニューズレターはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

審査証明技術全体はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/examination0>

。 。 ○ 。

はしわたし（みなさまの情報交流の場です）

。 。 ○ 。

＼(^-^)/ 皆さまからの情報提供をお待ちしております(^-^)/

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。 。 ○ 。

国からの情報

。 。 ○ 。

↓ここからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2019. 5. 10 の情報です）

配信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課

企画専門官 山縣弘樹

令和元年第一号のホットインフォメーションをお送りします。

お知らせにあるように、GKP（下水道広報プラットフォーム）にて、マンホールカード第 10 弾の公募が始まっています（5 月 15 日まで！）。第 9 弾までで、全国 407 自治体でマンホールカードが作成されているそうです。

また、ミス日本の「もう一人の水の天使」に西尾菜々美さんが就かれるとのことで、今後、各地の下水道イベントなどでのご活躍が楽しみです。

ところで、元内閣官房参与の藤井聡・京都大学教授が、これまでに様々なインフラへの取材内容をまとめて、4 月に新著「インフラ・イノベーション」を出版されました。その中に、平成 28 年に下水汚泥のエネルギー利用について国交省下水道部や福岡市へ現地取材した内容を基に書かれた『『下水資源』イノベーション：都市に眠る宝の山』も掲載されています。関心のある方は是非ご一読ください。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

- マンホールカード第10弾の公募が始まっています（多数の応募をお待ちしています）
（GKP）
- ミス日本「水の天使」2名体制のお知らせ（一般社団法人ミス日本協会）
- 「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」公募について（国土交通省）

-
-
- マンホールカード第10弾の公募が始まっています（多数の応募をお待ちしています）
（GKP）

GKPでは、好評をいただいているマンホールカードについて第10弾の発行を企画しています。

つきましては、以下のとおりカード発行を希望する地方公共団体を募集しています。

- 第10弾発行の概要

- ・登録予定カード 50種類程度 ・発行時期 令和元年8月上旬予定

- 募集期間

- ・令和元年5月7日（火）～5月15日（水） 17時厳守

- 登録申請

登録申請にあたっては、GKP・下水道広報プラットフォームホームページから資料一式を

ダウンロードしていただき、内容をご確認のうえ募集期間内に必要書類を提出してください。

GKP・下水道広報プラットフォームホームページ <http://www.gk-p.jp/>

- 抽選結果連絡

- 抽選結果の連絡については、5月21日（火）を予定しております。

【マンホールカードの制作に関するお問い合わせ先】

ユニオンクリエイティブ（株）

メール：manholecard@union-creative.jp

電話：03-5817-8477

【その他制作以外のマンホールカードに関するお問い合わせ先】

GKP・下水道広報プラットフォーム MC制作チーム

メール：manhole-card@gk-p.jp

※GKPへのお問い合わせはメールのみで対応させていただきます。

- ミス日本「水の天使」2名体制のお知らせ（一般社団法人ミス日本協会）

大変多くの水関連業界の皆様より「水の広報官」としての期待を受け、今年1月のミス日本コンテスト受賞直後から精力的に活動してまいりました2019ミス日本「水の天使」谷桃子についてですが、就職先会社様の突然の方針変更により本年5月以降、当初想定していたほどの活動ができない状態となってしまいました。

いつも多大なご支援やご期待を寄せいただいた皆様には大変申し訳ございません。

水の天使の中核を担う「21世紀の下水道を考える会」協議会さま、日本水道工業団体連合会さまとミス日本協会の間で協議を行い、谷桃子に加えて同年ミス日本コンテストで「準ミス日本賞」を受賞した西尾菜々美を、新たに「もう一人の水の天使」として迎えて、本

年は2名体制を敷くことと致しましたことをご報告申し上げます。

詳細につきましては、ミス日本オフィシャルWEB ページをご覧くださいませ。

<https://www.missnippon.jp/news/others/20190509water/>

本年これからは、谷桃子と西尾菜々美の天使2名体制で、水の広報官としての役割を全うするべく

全力で対応をしてまいります。

引き続きご理解とご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

○ 「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」公募について（国土交通省）

国土交通省では、建設現場の生産性向上を目指す i-Construction と、統合イノベーション戦略（H30.6.15 閣議決定）を受け、「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」を平成30年度より開始しました。

本プロジェクトは、公共土木工事において、革新的技術により施工データ等のリアルタイム取得・解析を試行し、建設現場の飛躍的な生産性向上を目指すもので、今年度においても以下のとおり公募が開始されました。

1. 公募対象技術

次の対象技術Ⅰ又はⅡの技術を公募します。なお、各技術は国土交通省等発注の既契約工事の建設現場（※地方公共団体発注の下水道工事を含みます）において、2019年度に試行します。

対象技術Ⅰ：データを活用して土木工事における施工の労働生産性の向上を図る技術

対象技術Ⅱ：データを活用して土木工事における品質管理の高度化等を図る技術

2. 公募スケジュール

2019年4月26日 公募開始

2019年6月7日 公募締切

2019年7月上旬（予定） 審査結果公表・通知

※本公募に関する詳細は、下記の国土交通省HPに掲載しております。

http://www.mlit.go.jp/report/press/kanbo08_hh_000579.html

3. 備考

対象は土木工事のみですが、他職種の企業の方は、土木工事を受注している建設会社等とコンソーシアムを組むことで応募することが可能です。詳細は上記ホームページの公募要領を参照願います。

【参考情報】

◆下水汚泥ガスで発電 釧路市計画22年度にも稼働 <5/10 北海道新聞>

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/303510>

◆新潟市が、今夏から供用開始となる「大石2号貯留管」の見学会を開催

<5/9 にいがた経済新聞>

<https://www.niikei.jp/16016/>

◆工事現場も下水道も「観光資源」 国ぐるみで推進する「インフラ観光」その魅力とは？
<5/8 ニコニコニュース>
https://news.nicovideo.jp/watch/nw5265452?news_ref=20_20

◆安政遠足 ゴール 足元にも注目 <5/8 上毛新聞>
<https://www.jomo-news.co.jp/news/gunma/society/129969>

◆オリパラ会場のお台場、「泳げる海」目指す 港区が動画作成しPR <5/8 イザ!>
<https://www.iza.ne.jp/smp/kiji/sports/news/190508/spo19050821500084-s1.html>

◆イカナゴ不漁の原因？ 瀬戸内海への排水基準を見直しへ <5/8 神戸新聞>
<https://www.kobe-np.co.jp/news/sougou/201905/sp/0012309524.shtml>

◆「消化ガス」燃料に発電 船橋市、西浦下水処理場で施設稼働 <5/6 東京新聞>
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/chiba/list/201905/CK2019050602000183.html>

◆アングル：トイレ掃除や下水検査も、ロボットが変える「3K労働」 <5/3 ロイター>
<https://jp.reuters.com/article/worldatwork-dirty-robot-idJPKCN1S11JZ>

◆水道料金、3～5年ごとに見直しへ 値上げの動きが広がりそう？ <4/27 ハフポスト日本版>
https://www.huffingtonpost.jp/entry/storywatersuidouprice_jp_5cc3b754e4b08e4e3482381c

=====

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512
ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>
○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp
○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから
→ jiwet@jiwet.or.jp
○メルマガ配信停止はこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>
○ニューズレターはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>
○はしわたしのバックナンバーはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi>
○ゆいまーるのバックナンバーはこちらから
→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>